

レスリング部の河名真寿斗選手が 高知県でレスリング指導を行いました

クリナップ（本社：東京都荒川区 代表取締役 社長執行役員：竹内 宏）が運営する、クリナップレスリング部の河名真寿斗選手（男子グレコ 67 kg級）が、9月7日から8日にかけて高知県にてレスリング指導を行いました。

練習会には、宿毛高校、高知東高校、高知南高校、高知南中学校、一宮中学校、徳島県立つるぎ高校の学生と、宿毛レスリングクラブ、高知クラブ、極東ジュニアのちびっこ、全53名が参加。河名選手を含む7名の指導者は、全身の攻防を可能とする、フリースタイルの基本的な組手やステップ、相手の腕を掴んでからの攻撃方法や、上半身のみの攻防を可能とするグレコローマンスタイルの基本的な組手と投げ技などが伝授しました。

クリナップは1992年にレスリング部を創部以来、企業スポーツとして運営しています。現在は2020年に開催される東京オリンピックを目指し、4名の選手が活躍しています。生産拠点である福島県いわき市では、キッズレスリングも支援しています。クリナップは、今後も日本のレスリング発展に貢献して参ります。



練習会に参加した選手と指導者（河名選手：前列左から3番目）